

第1回チャペル・アワー・フォーラム開催!

7月17日、第1回チャペル・アワー・フォーラムがアイモスト館ゲストハウスで開催されました。題して「へちャペル・あわー」を考える(参加者倍増計画)。

奨励者や司式者や奏楽者、そして学生の皆さんが集まり、キリスト教文化センターの中心的活動であるチャペル・アワーについて意見交換と交流の場をもちました。あいにくの大雨にもかかわらず、51名が参加。キリスト教文化センター学生スタッフ編集のビデオによる両校地のチャペル紹介や今回のテーマにちなんだクイズ、神学部の関谷先生によるポップな賛美歌の紹介(「弾き語り」)など、さらに軽食をとりながら建設的な話し合いの場となりました。チャペル・アワーを実施する時間帯の問題、奨励者や奨励テーマについてのリク

エスト、楽器や音楽についての要望、留学生のための外国語のチャペル・アワーの可能性、その他いろいろなアイデアや要望が寄せられました。

キリスト教文化センターではこれらの意見を真剣に受けとめて、これからのチャペル・アワーの計画や運営に活かしていきたいと考えています。どうぞ引き続き、ご意見やご要望をお寄せください。



(キリスト教文化センター) 越川 弘英

お知らせ

○Doshisha Spirit Week 2015 秋
11月2日(月)～11月7日(土)

○オープン・プログラム公開講演会
「移行期を生き延びるために」

講師：思想家・武道家 内田 樹
日時：11月4日(水)14:55～16:25
会場：未定(決まり次第、HP・キリスト教文化センター
掲示板のポスター等にてお知らせします。)

○クリスマスイルミネーション点灯式
今出川校地 11月20日(金)17:15～
サンクタスコート(彰栄館東)ヒマラヤスギ周辺
京田辺校地 11月30日(月)16:45～
ローム記念館前

○第26回同志社京田辺クリスマス燭火讚美礼拝
日時：12月12日(土)16:00 開場 16:30 開始
会場：同志社新島記念講堂

○クリスマス・イブ礼拝
両校地にてクリスマス・イブ礼拝を行います。
京田辺校地 12月24日(木)16:40～
会場：同志社京田辺会堂 言館(KOTOBA-KAN)礼拝堂
今出川校地 12月24日(木)18:30～20:00
会場：同志社礼拝堂
※今出川校地は同志社教会との共催

○朝の祈禱会
日時：10月5日(月)、11月2日(月)、12月7日(月)、
1月6日(水)
8:30～8:50
会場：キリスト教文化センター集会室
(クラーク記念館1階)

○メディテーション・アワー
オルガンの響きとともに黙想の時をお過ごしください。
今出川校地 12月22日(火)までの月～木曜日
12:30～13:00
会場：同志社礼拝堂(11月はクラーク・チャペルで開催)
京田辺校地 12月21日(月)までの月・水・木曜日
12:30～13:00
会場：同志社京田辺会堂 言館(KOTOBA-KAN)礼拝堂

○オフィス・アワー
学生の人生における悩みや不安などの相談に応じています。
今出川校地 火曜日 3 講時 越川 弘英
木曜日 4 講時 三木 メイ
京田辺校地 火曜日 10:00～14:30 栗原 宏介
(11:30～13:00を除く)
火曜日 3 講時 三木 メイ
木曜日 3 講時 越川 弘英
金曜日 13:00～16:15 渡辺圭一郎

チャペル・アワー案内

2015年10月1日
No.229

同志社大学
キリスト教文化センター

京田辺
0774-65-7370
今出川
075-251-3320

聖書に出てくるおおきな動物「カバ」

切り絵 中谷隆志

秋学期チャペル・アワー統一テーマ

「見よ、わたしはあなたと共にいる。」 (創世記28章15節より)

チャペル・アワーの終わりごろ、牧師が会衆に向かって手を挙げ「祝福」します。祝福の言葉はいろいろですが、「神があなたがたといつも共にいてくださるよう」に」という意味です。喜びの時も、悩み苦しむ時も、一人の時も、家族や仲間といえる時も、いつも神が共にいて守り導いてくださるようという祈りの言葉でもあります。

創世記28章の「わたしはあなたと共にいる」は、夢のなかで神がヤコブに伝えた言葉です。この時ヤコブは族長である父を欺いて、兄に与えられるべき跡継ぎとしての祝福を受け、憎まれて故郷から逃亡したばかり。彼は神に呪われるのではないかと思ひ、罪の意識をもって野宿していました。しかし「あなたがどこへ行っても、わたしはあなたを守り、必ずこの土地に連れ帰る」「決して見捨てない」という神の言葉を聞いたのです。この言葉を信じてヤコブはその後の人生を神と共に誠実に歩み、20年後に兄に心から謝って和解することができたのです。

(キリスト教文化センター) 助教 三木 メイ

©2015年度春学期から京田辺校地のチャペル・アワーは同志社京田辺会堂 言館（KOTOBANK）
 拝堂で行われ、京田辺火曜ランチャタイム・チャペル・アワーが新しく始まり、京田辺水曜チャペル・アワー
 の時間が変更になっています。

京田辺校地

月/日	奨励者
10/6	日本キリスト教団奈良教会牧師 栗原宏介
10/13	キリスト教文化センター助教 三木メイ
10/20	日本キリスト教団東神戸教会牧師 横山順一
10/27	日本キリスト教団石橋教会牧師 仲程愛美
11/3	日本キリスト教団奈良教会牧師 栗原宏介
11/10	日本キリスト教団千里聖愛教会牧師 川江友二
11/17	キリスト教文化センター助教 三木メイ
11/24	日本キリスト教団東神戸教会牧師 横山順一

火曜ランチャタイム・チャペル・アワー

同志社京田辺会堂 言館 拝堂 毎火曜日12時35分～13時

月/日	奨励者
10/7	日本キリスト教団長岡京教会牧師 韓守信
10/14	同志社・香里中学校・高等学校 宗教主任・聖書科教師 富田正樹
10/21	Happy Beauty Project代表 三田果菜
10/28	同志社大学名誉教授 深田未来生
11/4	同志社国際中学校・高等学校 宗教科教師 朴元炯怜
11/11	アジア学院研究科生 カリン・トシヤン
11/18	日本キリスト教団香里ヶ丘教会牧師 渡辺圭一郎
11/25	同志社国際中学校・高等学校 宗教センター主任・チャペル・アワー 山本真司

水曜チャペル・アワー

同志社京田辺会堂 言館 拝堂 毎水曜日15時～15時45分

月/日	奨励者
10/2	日本キリスト教団香里ヶ丘教会牧師 渡辺圭一郎
10/9	日本キリスト教団大和郡山教会牧師 尾島信之
10/16	日本キリスト教団宇治教会副牧師 大塚泰恵
10/23	キリスト教文化センター助教 三木メイ
10/30	日本キリスト教団高槻日吉台教会牧師 小笠原純
11/6	日本キリスト教団香里ヶ丘教会牧師 渡辺圭一郎
11/13	日本キリスト教団大和郡山教会牧師 尾島信之
11/20	日本キリスト教団宇治教会副牧師 大塚泰恵

金曜ランチャタイム・チャペル・アワー

同志社京田辺会堂 言館 拝堂 毎金曜日12時35分～13時

月/日	奨励者
10/2	日本キリスト教団同志社教会牧師 望月修治
10/9	日本キリスト教団上鳥羽教会牧師 月下星志
10/16	キリスト教文化センター助教 越川弘英
10/23	神学部准教授 村山盛葦
10/30	日本キリスト教団牧師 藤浪敦子
11/6	日本キリスト教団同志社教会牧師 望月修治
11/13	日本キリスト教団上鳥羽教会牧師 月下星志
11/20	日本キリスト教団牧師 藤浪敦子

今出川校地

火曜チャペル・アワー

神学館 拝堂 毎火曜日17時30分～18時10分

月/日	奨励者
10/6	日本キリスト教団神戸教会牧師 菅根信彦
10/13	NPO法人ロバの会会員 平野正
10/20	日本キリスト教団敦賀教会牧師 木谷誠
10/27	音楽礼拝（同志社教職員合唱団） 上林順一郎
11/3	日本キリスト教団松田教会牧師 Onoda Shunichi 上林順一郎
11/10	アジア学院職員 ザチボル・ラコ
11/17	神学部教授 音楽礼拝（同志社学生聖歌隊） 原誠
11/24	神学部教授 原誠

水曜チャペル・アワー

クララ・チャペル 毎水曜日10時45分～11時30分

月/日	奨励者
10/7	神学部教授 村上みか
10/14	日本キリスト教団磐上教会牧師 成田いうし
10/21	日本キリスト教団奈良教会牧師 栗原宏介
10/28	平安女学院中学校・高等学校チャペレン 古本みさ
11/4	日本キリスト教団桂新荘教会牧師 Onoda Shunichi 竹ヶ原政輝
11/11	経済学部教授 和田喜彦
11/18	神学部准教授 勝又悦子
11/25	グローバル・スタディ・研究科 ギャビン・ジェームス・キャンベル

エッセイ

『京田辺のすばらしい礼拝堂を見ながら』

青山 謙二郎

京田辺キャンパスに礼拝堂が建ちました。私の研究室の目の前に、すばらしい礼拝堂があります。毎日、とてもうれしい思いで窓から礼拝堂を眺めています。ラウンジのある光館（HIKARIKAN）とチャペルのある言館（KOTOBANKAN）の間を抜けて、毎朝、研究室に通っています。

その礼拝堂で、私も先日、チャペル・アワーでの奨励をしました。話をする側も、今までの教室でのチャペル・アワーに比べて、気分が盛り上がります。讚美歌を歌うと気持ちよく声が響きます。今年度から新しく始まった火曜日のランチャタイムのチャペル・アワーでした。ランチャタイムのチャペル・アワーは、25分程度と時間が短いのですが、今までは都合が合わなかった人も参加できるように、それもうれしい点でした。

その日は、「声が聞こえなくなったら」というタイトルで話をしました。私の所属している教会の牧師の説教の受け売りで、棕櫚の主日からイエスの処刑までの話をしました（季節外れですが）。イエス・キリストがエルサレムに歓呼の声をもって迎えられた、そのわずか5日後には罵声のなかで処刑されました。その時、5日前にイエスを喜んで迎えた人は、何をしていたのでしょう。声を挙げなくなってしまったのだと思います。

声を挙げにくいことは、今の私たちの暮らしのなかでも、ごく普通にあります。しかし、声を上げることができると、自分とは違う意見の声に耳を傾けることができることは、いつでも大事なことです。

政権与党の国会議員が、自分たちの主張と相容れないマスコミに圧力をかけるという提案を党の集会で堂々と発言する時代です。幸いなことに、時の権力に反対する声は、まだ聞こえなくなっていないません。私たちが、立場の左右によらず、自分の思いを声に出すことができる社会を守るために、祈り、発言し、行動し続けなければなりません。今も研究室から礼拝堂を見ながら思います。

日本基督教団から7月に「戦後70年にあたって平和を求める祈り」が発表されています。Webで検索すればすぐ出てきますので、同志社に学ぶ皆さんには、ぜひ一度目を通していただきたいと思います。

※日本基督教団ホームページ

「戦後70年にあたって平和を求める祈り」

<http://uccj.org/news/21806.html>

（あおやま・けんじろう＝心理学部教授）